

令和7年6月11日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長

明 石 欣 也（公印省略）

教員の公募について(依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

講師又は助教 1名（女性限定）

2. 所 属

生命環境農学科生命環境農学講座 作物管理学教育研究分野

3. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者（着任までに取得見込を含む。）
- (2) 以下のような作物管理学分野での研究と農業への応用に関する教育・研究に熱意をもって取り組めること。
 - ① 農作物の栽培技術および圃場管理技術の開発
 - ② 農作物の生理生態・環境応答の研究および精密農業への応用
 - ③ 農作物の栽培に関する実践的な実習教育
- (3) 鳥取大学農学部教員選考基準（資料1）を満たしていること。
ただし、助教での採用を希望する場合には、着任までに博士の学位を取得する予定の者も含む。
- (4) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻が担当できること（資料2）。
- (5) 全学共通科目・一般教養科目（生物学）等を担当できること。

- (6) 教育職員免許状関係授業科目（生物学実験演習）を担当できること。
- (7) 授業及びその他の業務に支障のない日本語能力を有すること。
- (8) 女性であること（本公募は女性限定です）。
「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置。

※資料1、2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

- (1) 学 部：担当教育コース 植物菌類生産科学コース
栽培学概論、飼料作物学Ⅰ・Ⅱ（分担）、農業基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（分担）、植物菌類生産科学基礎演習（分担）、農業演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（分担）、先端農学実践講義Ⅰ・Ⅱ、植物菌類生産科学英語Ⅰ・Ⅱ、植物菌類生産科学グローバル演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
教育職員免許状関係授業科目（生物学実験演習）、全学共通科目・一般教養科目（生物学）等
- (2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻
作物学特論（分担）、生命環境農学特論Ⅱ（生産資源環境）（分担）、農学特別演習Ⅰ・Ⅱ等

5. 契約期間・待遇

- (1) 任期を定めない。
- (2) 年俸制（本学の定年は65歳です。給与、勤務時間、休日及び保険等については、本学の規程に基づき決定します）

6. 提出書類

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（記入要項参照） | 1 通 |
| (2) 調査書（記入要項参照） | 1 通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷（複写も可） | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000 字程度） | 1 部 |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200 字程度） | 1 部 |
| (6) 推薦者がある場合は推薦書 | 1 通 |

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (7) 学位記の写し又は学位取得（見込）証明書 | 1 通 |
| 2026 年 3 月に学位取得予定の者は指導教員の所見 | 1 通 |

※記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

7. 応募締め切り

令和 7 年 8 月 22 日（金） 必着

8. 選考方法

書類選考の後、最終候補者によるプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

9. 採用予定年月日

令和 8 年 4 月 1 日

10. 書類送付先及び問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生命環境農学科生命環境農学講座

作物管理学教育研究分野予備選考委員長 田中 裕之

電話：0857-31-5477

E-mail：htanaka@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

なお、応募書類は原則返却いたしません。著書等の返却を希望される場合は、その旨をお知らせください。

11. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。

また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

URL： <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

- URL : <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/worklife/>
- ・鳥取県の「子育て王国とっとり」
- URL : <https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 農学部生命環境農学科には教員組織として生命環境農学講座があり、学科の教育コースとして国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学の4つのコースがあります。

植物菌類生産科学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

持続性のある農業生産を行うためには、生物資源を発掘し育種する基礎的な知識・技術を習得し、高度な生産技術開発を行える人材が必要不可欠です。本コースでは、附属フィールドサイエンスセンターにおける広大な農地・森林や附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの膨大な遺伝資源を最大限に活用し、専門家・技術者として生産現場で活躍できる人材を養成します。

【教育目標】

- 1) 植物および菌類の生理・生化学、遺伝学、分類・生態学および農業機械学の理論と手法を修得し、問題解決能力を養います。
- 2) 生産現場の要求を解決するための、作物栽培、育種、園芸、作物保護の理論と技術を修得し、広い視野と指導力を養います。
- 3) 菌類きのこ等の微生物の多様性を理解し、それを発掘・改変するための理論と技術を修得し、高度利用するための研究開発能力を養います。

将来的に、カリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。

2. 将来的にカリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。
3. 本学部は、島根大学生物資源科学部、山口大学農学部とともに、鳥取大学大学院連合農学研究科を構成しており、本学部の教員は、博士課程の教育・研究指導も担当しています。

以上